

## 2019年度 神戸女学院大学教職員組合定例総会 議事録

日時：2019年6月28日（金）13：10～14：00

場所：文学館 L-28 教室

書記：笹尾 佳代、立川 泰子

- 1 開会宣言 [石川委員長]
  
- 2 議長団承認の件 [石川委員長]  
議長：建石 始  
副議長：佐伯 裕加恵  
書記：笹尾 佳代、立川 泰子  
上記が承認された。
  
- 3 報告 [石川委員長]  
本年度執行委員、退会会員、組合代表委員（社交館管理運営委員）が紹介された。
  
- 4 議事
- I. 新入会員紹介・承認 [石川委員長]  
12名の新入会員が紹介され、承認された。
  
- II. 2018年度活動報告（資料1） [矢野前委員長]  
資料1に基づき説明された。 承認。
  
- III. 2018年度決算報告（資料2） [北川前委員]  
資料2に基づき説明された。 承認。
  
- IV. 2019年度活動方針（資料3） [石川委員長]  
①資料3に基づき説明された。  
有給休暇の計画的付与について、実施する場合には学院と過半数代表とで労使協定を結ぶ必要がある。そのため、大学組合としての意見を過半数代表に提案することの補足説明があった。  
この件に関しては、質疑において、「有給休暇の計画的付与も含めた労務管理が進む展開になるのではないか」という懸念の声があがったが、現状の労働実態と学院規定との乖離の是正も含めて学院側との話し合いを重ねていくことが確認された。  
  
②課長会で提示された経費6%削減に関する経理部長へのヒアリングの報告があった。  
削減は、経常予算の範囲（物品購入など）で目指されるものであることが確認された。懸念さ

れた人件費・研究費については、直接雇用している職員やアルバイトの人件費、学部学科に配分されている教員の研究費は削減の対象としないこと、ただし、経常予算内の業務委託費には派遣職員の人件費が含まれているため、これは削減の対象となりうるという説明があった。

また、6%削減は絶対ではないが、2019年度予算を黒字で執行するためには必要であるため、各部署でどの程度削減可能かの検討を指示するものであること、7月10日締め切りで回答を集め、その上で6%削減が可能かどうかを再度検討するという説明があった。

執行委員からは、削減ではなく増収のアイデアを募ることも必要ではないかという意見を伝えたと説明があった。

### ③質疑において提示された意見

・働き方改革プロジェクトより課題の提言を行ったが、その実行の進捗状況について確認すること、具体的な回答を求めることを、要求事項に反映してほしいという意見があった。

・ハラスメント関連の業務が非常に荷重で、教育研究に差しさわりが出ている。この問題についてアウトソーシングできないか検討してほしいという意見があった。組合として態度表明が必要かどうか今後検討していくと補足説明があった。

以上の審議内容を考慮した上で、要求事項案の方向で進めることが承認された。

## V. 2019年度予算案（資料4）

資料4に基づき説明された。

[北川会計担当委員]

承認。

## VI. その他

なし。

以上